



並木中等進路関係 6年間のロードマップ

1回生がこの春卒業し、並木中等の第2ステージが始まりました。本校では、**6年間を通して生徒たちの発達段階に応じたキャリア教育**をめざしています。

ふつうの中学校では、せっかく学活・道徳・総合の時間等の中で「勤労観」(人は何のために仕事をするのか・自分はどういうふうに社会の役に立ちたいのか)や「職業観」(どんな仕事があって自分は何になりたいのか)を継続して考えてきても、それとは関係なく進路を成績によって輪切りされてしまう高校受験によって、そのキャリア教育が中断されてしまいます。一方、**大学受験**は高校入試とは違い、かなり目的意識がはっきりとしてきます。「自分は将来こういう分野で人のために働きたい。だから、この大学のこの学部学科で勉強に励みたい。」というふうに、それ自体がまさに**キャリアデザインの1つの通過点**なのです。並木中等教育学校は、大学卒業後の目標を見据えたキャリア教育を**6年間継続**して実践していける場だと考えます。学校の授業では、高校入試がない分、前期課程から国数英を中心に先取り学習が行われています。同様に、進路指導においても、職業研究だけでなく、本来高校入試から始まる**大学学部学科研究や大学研究等も前期課程後半から開始**しております。そして5・6年次においては、一人ひとりの**進路実現**のため、各自が**志を高く持ち続け可能性を最大限に**伸ばせるような指導をしてまいります。どの年次においても、並木中等でしか体験できない様々な刺激をどんどん受けて、自分の**未来の設計図を少しずつ形**にしていってほしいと願っています。

以下に並木中等1年次から6年次までの進路関係行事と模擬試験等を掲載いたしますので、それぞれの行事がもつ意味をご理解の上、ご協力いただければと思います。

| | 学習進路関係行事 | 模擬試験等 |
|----|--|---|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> ●学習オリエンテーション ●職業調べ ●夏休みKK[課題解決]週間<学習会> ●校外学習(職場見学等) | <ul style="list-style-type: none"> ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査①(4月) ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査②(10月) ●英検 ●漢検 ●Z会アドバンスト(1月) |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> ●ゲストティーチャー職業講話(年数回) ●職業調べ ●夏休みKK週間 ●校外学習(職場見学等) | <ul style="list-style-type: none"> ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査①(4月) ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査②(10月) ●英検 ●Z会アドバンスト(1月) |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> ●学部学科についての進路ガイダンス ●学部学科についての進路講演会 ●夏休みKK週間 ●マイフューチャーセミナー職業講話(3・4年) ●筑波大学訪問(学部学科研究) | <ul style="list-style-type: none"> ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査①(4月) ●ﾊﾞﾈｯﾄ学力推移調査②(10月) ●英検 ●Z会アドバンスト(1月) |

| | | |
|----|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●大学についての進路講演会 ●大学と入試についての進路ガイダンス ●保護者向け進路講演会 ●海外大学進学説明会 | |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> ●3年間を見通した進路ガイダンス ●教育実習生講話 ●大学出前授業(4・5年) ●模擬試験・文理分け等についての進路講演会 ●夏課外 ●マイフューチャーセミナー職業講話(3・4年) ●文理分け進路ガイダンス ●保護者向け進路講演会 ●大学訪問・講義等(東大・一橋大・東工大) ●大学入試についての進路ガイダンス ●進路状況説明会(4・5年) ●春課外 | <ul style="list-style-type: none"> ●GTEC(4月) ●進研模試(7月) ●河合全統模試(8月) ●進研模試(10月) ●校内センターチャレンジ(1月) ●進研模試(1月) ●英検 ●学研ハイレベル模試(3月) ●小論文模試 |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> ●教育実習生講話 ●大学出前授業 ●難関大を目標とするための進路講演会 ●夏課外 ●オープンキャンパスへの各自参加(報告書提出) ●科目選択進路ガイダンス ●保護者向け進路講演会 ●大学別進路説明会 ●進路状況説明会(4・5年) | <ul style="list-style-type: none"> ●GTEC(4月) ●河合全統模試(5月) ●進研模試(7月) ●河合全統模試(8月) ●進研模試10月 ●校内センターチャレンジ(1月) ●進研模試(1月) ●英検 ●駿台マーク模試(3月)※検討中 |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> ●進路ガイダンス ●進路講演会 ●大学別入試問題研究講座 ●夏課外 ●オープンキャンパスへの各自参加(任意) ●センター試験出願説明会 ●センター試験受験説明会 ●センター試験自己採点 ●国公立2次出願検討 ●個別2次指導 ●推薦・AO・医学部受験生への面接指導 | <ul style="list-style-type: none"> ●GTEC(4月) ●駿台全国模試(5月) ●進研マーク(6月) ●進研記述(7月) ●河合マーク(8月)or 難関大オープン夏 ●河合記述(8月)or 難関大オープン夏 ●^ハ駿台マーク(9月) ●河合記述(10月) ●^ハ駿台記述(10月) ●河合マーク(10月)or 難関大オープン秋 ●^ハ駿台マーク(11月)or 難関大オープン秋 ●河合センタープレ(11月) ●(並木プレ1月) |

※行事や模擬試験等の予定は変更される場合があります

家庭の役割

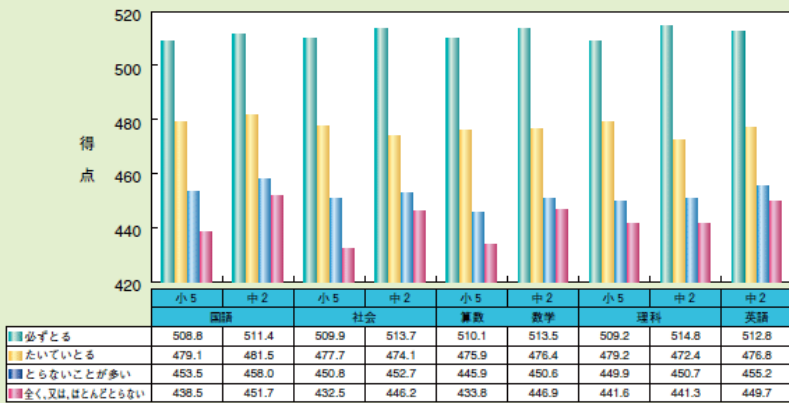
家庭は、教育の原点であり、全ての教育の出発点である。基本的な生活習慣、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観、自立心や自制心などは、愛情による絆で結ばれた家族との触れ合いを通じて、家庭で育まれるものである

これは、昨年度も紹介させていただいた「くまもと家庭教育支援条例」附則の一節です。並木中等教育学校での6年間、多感な生徒たちの成長を支えていくためには、学校だけでなく、教育における家庭の役割が大切なことは皆さんご存知の通りです。

【早寝・早起き・朝ごはん】



図表●2-1-4 朝食の摂取とペーパーテストの得点の関係



児童生徒数：小学生 約21万1,000人（小学5・6年生各約10万人）
中学生 約24万人（各学年約8万人）

（資料）国立教育政策研究所「平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査」

最近よく耳にする言葉ですが、国立教育政策研究所で、全国45万人の小中学生を対象に「朝食の摂取とペーパーテストの得点の関係」を調査した結果が、左のグラフです。5教科とも見事に朝食をきちんと（必ず）とっている人たちの得点が高く、全く、またはほとんどとらない人たちは得点が一番低い結果となっています。やはり家庭での基本的生活

習慣が勉強にかなり影響していることは確かなようです。ぜひ前期課程のうちからしっかりと生活習慣と家庭学習習慣をつけさせて下さい。「もう中学生だから」「もう高校生だから」といつい考えがちですが、中学生や高校生にするための手助けは必要となります。段階的に手を放していくような関わりをしていくとよいでしょう。

【受験生の親として】

受験生である子どもがしだいに悩んだり焦ったりしてくる姿を見ると、親としてはどうしても手助けしたくなるもの。できることなら代わってやりたいぐらいですが、こればかりは代われません。さらに、家庭に受験生がいるというだけで相当な緊張感・プレッシャーがあるわけですが、家族までそのストレスを共有してはかえって息が詰まってしまう。苦しくなってお母さんに相談しようとしたら、お母さんのほうが緊張していて言い出せなかった、なんてことにもなります。そこで大切なのは、少し距離をおいて冷静に話を聞いてもらえる話し相手になってあげること。決して勉強や受験のスペシャリストになる必要はありません。受験は生徒たちにとって自分を成長させるまたとないチャンスでもあります。自分で計画をきちんと立て、自分で情報収集をし、自分で志望校に申込みをする。そういう過程を通して、子どもから大人へと着実に成長していくこととなります。そして何よりも最後まであきらめさせないことが大切です。最後まで頑張った生徒は学力面だけでなく、精神面もかなり鍛えられ、それが結果よりもその後の人生に大きな影響を及ぼすことが多くあります。受験生の親としてはあくまで過敏に反応することなく、ふだん通りいつもと変わらぬように心がけて下さい。必要以上に親のほうがかんばりすぎると、子どものせっかくの成長の芽を摘んでしまうことにもなりかねません。